

21世紀の森と広場

# どんぐり

パークセンターだより 第122号 2013年8月・9月号



## 豊かな森？荒れた森？

自然解説員  
あいざわあきひと  
相澤章仁

右のような森の写真を見て、ドンちゃん、グリちゃんが話をしています。白黒ではわかりにくいかもしれませんが、<sup>ざっそう</sup>雑草がたくさん生えていて、全体的に緑が多い森です。このような森を見て何を感じるか、まずはレディーファーストで、グリちゃんに聞いてみましょう。



グリちゃん

この森は緑が多くてとても豊かな自然よね。ぱっと見た感じで緑の量が多いし、多くの生き物が住んでいるんじゃないかしら？  
いわゆる<sup>やぶ</sup>藪という感じで近づきがたいけど、その分“自然”を強く感じるわ。

グリちゃんはどうやら自然の多い森であると感じているようです。では、ドンちゃんはどうのように感じているのでしょうか？

グリちゃん、何を言っているんだよ、この森は<sup>あ</sup>荒れた森じゃないか。雑草をしっかりと<sup>か</sup>刈って入りやすくして、一年中葉っぱがある<sup>じょうりよくじゅ</sup>常緑樹を切って、冬には葉を落とす<sup>らくようじゅ</sup>落葉樹の明るい森にするべきだよ



ドンちゃん

さて大変です、同じ森を見てドンちゃんとグリちゃんがまったく正反対のことを言ってケンカになってしまいました。グリちゃんはありのままの自然を大切だと考えていますが、ドンちゃんは森に入りやすいよう明るい状態にしておきたいようです。



グリちゃん

わたしは学校の先生から『自然を大切に下さい』とずっと習ってきたわ。なのに自分たちが使うために草を刈ったり木を切ったりしたら自然破壊じゃない。そんなことして良いわけないでしょう？



ドンちゃん



ドンちゃんはグリちゃんのあまりの勢いに黙ってしまいました。でも、ドンちゃんの言う『明るい森』を作ることは果たして本当に自然破壊なのでしょうか？

日本人はずっと森を利用して生活をしてきました。木で家を作り、山菜やキノコを採って食べ、薪を燃やして料理を作ったり、お風呂のお湯をわかしたりしてきました。成長が早く明るい落葉樹の森を作ることで、より多くの薪を集め、多くの恵みを得ることができました。そういう生活を何千年も前から続けてきたのです。しかしそれが、突然森を使わなくなるという大変化が起きました。50年ほど前のことです。その大変化とは、ガス・電気を各家庭で自由に使えるようになったということです。今まで森から薪を拾ってきてわかしていたお風呂はガスでわかすようになり、料理もガスを使って、キノコなどの食材もスーパーマーケットなどで買ってくるようになりました。こうした変化はそれまで深く結ばれていた人間と森を切り離すことになり、ほったらかされた森が『荒れて』いき、何千年も続いていた『明るい森』という環境が好きで集まっていた動植物が今はどんどんいなくなっているのです。



グリちゃん

ほら、僕が言ったとおりじゃないか！！明るい森が良いんだよ！！

なんで明るい森がいいかっていう理由も説明できなかつたくせに…  
でも、森を管理することって大事なのね。



ドンちゃん

ただし、今ある森をすべて明るい森にするのが良いという訳ではありません。暗い森が昔はまったくなかったのではないし、明るい森よりも、暗い森の方が好きな動植物もいるのです。



グリちゃん

そうか、明るい森ばかりだと、タヌキやキツネの隠れ家も無くなってしまふもんね。暗い森が好きな昆虫とかもいそうだな。

結局バランスが大事ってことね。どちらが正解だという話ではないのね。



ドンちゃん

### ☆☆調べてみよう☆☆

周囲の人に、子供の頃どうやってお風呂をわかしていたかを聞いてみましょう。  
年齢や育った場所も一緒に聞いて、時代や場所によってお風呂のわかし方がどのように変化するかまとめてみるのもよいでしょう。また、薪でわかしていた場合は、その薪をどこから集めてきていたのかも聞いてみましょう。

## ～自然観察舎 湿地の観察会のご案内～

実施時間	実施日
10:00～10:30	土曜日 日曜日 祝日
11:00～11:30	
13:30～14:00	
14:30～15:00	

【定員】

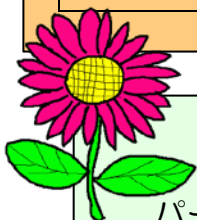
先着25名（当日受付）

【受付】

自然観察舎窓口

【電話】

047-340-4140



## みどりの相談室

パークセンター「みどりの相談室」では、相談員の先生が園芸に関するさまざまな質問に無料でお答えします。電話でもお受けしていますのでお気軽にご相談下さい。

【相談日】 水・土・日曜日と祝日

【時間】 午前10時～12時・午後1時～3時30分

【電話】 047-345-8738

ハナミツバチ



## 夏季営業時間延長のお知らせ

7月21日（日）～8月20日（火）の間は、公園の開園、各施設の開館時間が延長されます。

施設名	利用時間	休園等
公園	午前9時～午後6時30分	12月30日～1月1日
パークセンター	午前9時～午後6時	月曜日（祝日開館翌日休館）
自然観察舎	午前9時30分～午後6時	月曜日（祝日開館翌日休館）
カフェテラス	午前10時～午後6時	月曜日（祝日営業翌日休業）
アウトドアセンター （バーベキュー場）	午前9時～午後5時30分	木曜日（祝日営業）

# アオバハゴロモ～可愛い虫ほど謎がある～

なぞ

自然解説員  
加賀芳恵

道端<sup>みちばた</sup>や庭に生えた植物の茎<sup>くき</sup>が、写真(上)のように一部分だけ真っ白になっているのを見つけたことはありませんか？

この白いかたまり、そっと指を触れてみると・・・何やら白い綿<sup>わた</sup>あめのような動くものがいくつもあるのに驚<sup>おどろ</sup>かれることと思います。そのまましばらく触ろうとすると、突然「ピョン」とどこかへ飛び跳ねて逃げてしまい二度びっくり。

この綿あめ妖怪<sup>ようかい</sup>の正体はというと、「アオバハゴロモ」という虫の子どもです。

「ハゴロモ」とは大ざっぱに分類すればセミやカメムシなどに近い仲間の昆虫です。よくよく見ると、顔立ちや体の形がセミに似ています。白い綿あめのようなものは口<sup>くちばし</sup>状物質で、幼虫の腹の先から分泌されたものです。植物の緑の中でかえって目立つような気もしますが、この口<sup>くちばし</sup>状物質で体を覆<sup>おお</sup>い、いざとなれば跳んで逃げることによって身を守っているのではないかと思われま



幼虫



成虫

この昆虫、不思議な見た目以外にも名前のつけられ方に関してとても面白い謎があります。「ハゴロモ」は漢字で書けば「羽衣<sup>てんによ</sup>」、天女の衣服です。先日最も有名な羽衣伝説<sup>はごろもでんせつ</sup>の舞台・三保の松原<sup>みほまつばら</sup>が世界遺産<sup>いさん</sup>に登録されたのは記憶<sup>きおく</sup>に新しいことと思います。

下の写真のように大人になると三角形の美しいはねを持つことから、羽衣を身にまとった天女<sup>たんと</sup>に例えられたのでしょうか。飛ぶのはあまり上手ではありませんが、天女だと考えればなかなか優雅<sup>ゆうが</sup>な飛び方であると言えるかもしれません。

ところが、和名<sup>わめい</sup>ではなく学名<sup>がくめい</sup>に目を向けてみると、このイメージは全く別方向<sup>てんかん</sup>へ転換させられます。生き物は日本語の名前の他に世界共通の学名を持っていま

すが「アオバハゴロモ」の場合、学名は何と「*Geisha distinctissima*」。「芸者<sup>げいしや</sup>」と名付けられているのです。

最初にこの学名を知ったとき、私はなぜこの昆虫が「芸者」であるのか全く見当が付きませんでした。たしかに見ようによっては美しくはかなげな印象はありますが、「天女」ならまだ共感できるものの、「芸者」たる理由はどこにあるのか。日本で学名に「*geisha*」の入る昆虫としては他に「クジャクチョウ」が存在しますが、こちらははねの裏が黒、表がはっきりとした赤であり非常に派手な部類<sup>ちよう</sup>の蝶<sup>いわかん</sup>ですから、あまり違和感なく納得<sup>なっとく</sup>できるのです。タテハチョウの仲間なのではたたく力も強く、山で出会うとふと道に止まって少しはねを開いたと思えばすぐさま飛び立ってしまう様子は、芯<sup>しん</sup>の強い女性の姿<sup>れんそう</sup>を連想させます。

「アオバハゴロモ＝芸者」の理由を調べてみるうちに、ひょっとするとこれではなかろうかということが一つだけ見つかりました。以下は推測<sup>すいそく</sup>になります。

アオバハゴロモの成虫のはねは、その和名の通り薄い青色をしています。日本の着物<sup>でんとうしよく</sup>に使われる伝統色<sup>しんばしいろ</sup>の中に「新橋色」という色があり、うっすらと緑がかった明るい青色で、アオバハゴロモのはねの色によく似ているのです。この色は明治の終わりごろに化学染料<sup>かがくせんりよう</sup>を使って誕生<sup>たんじよう</sup>し、東京で新興花柳界<sup>しんこうかりゆうかい</sup>として栄えた新橋の芸者<sup>げいしや</sup>の間での流行色<sup>りゆうこうしよく</sup>です。

つまり、アオバハゴロモの学名をつけた人(おそらく明治時代に海外から来日した昆虫学者でしょう)にとっての「ゲイシャ」とは、新橋色の着物を着た芸者だったのではないのでしょうか？

こう想像してみると、あじさいにまつわるシーボルトの「お滝さん」の話とまではゆきませんが、100年前の日本の文化が虫の名前に反映されているということにロマンを感じてしまいます。

この虫は地域によっては「ハト」、「ぽっぽ」などとも呼ばれているようで、いずれにしても愛らしいイメージを持たれやすいのかもしれない。見かけた際にはぜひ、少し立ち止まってご覧になっていただければと思います。

**ドコでもシアター**～音で満たす、日暮れ空と水面の間～<sup>ひぐ</sup> <sup>みなも</sup>

8月17日(土) 15時から 15時30分

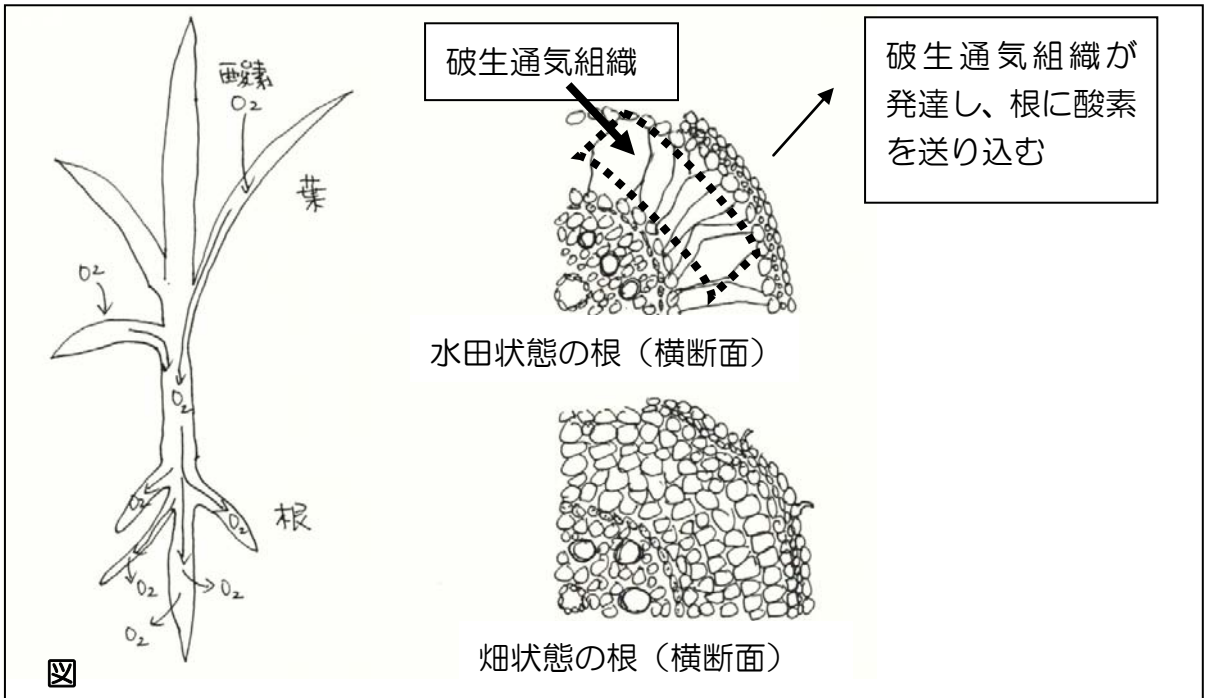
17時から 17時30分

～プラスバンドによる演奏を行います～

# イネ

みどりの相談員  
野島博

イネは、水陸両用の植物です。水田（水の中）でも畑（陸）でも成育出来る能力を持っています。多くは水田で栽培されますが、畑でも陸稲（りくとう、おかぼ）と呼ばれ栽培されています。イネの祖先を辿ってみると、湿地に成育したものが畑でも成育出来るようになったとか、反対に畑で成育したものが湿地に広がったとかの両方の説があります。イネのこの能力（適応力）は、根の破生通気組織と呼ばれるものによります（図参照）。



葉から酸素を取り込み、通気系と呼ばれる<sup>★1</sup>細胞間隙<sup>さいぼうかんげき</sup>を通して根まで送り込んでいます。このため、水田の中でも根腐れすることなく成育出来ます。一般に、水中には酸素が少なく、例えば水槽で金魚等を飼う時エアープンプ等で水中に酸素を供給しています。多くの植物も同様に水の中では酸素が不足するので成育出来ません。水田は畑に比べ酸素は少なく、いわゆる<sup>★2</sup>還元状態<sup>かんげん</sup>になっています。イネが水田で成育できるのは、先に述べたような根の破生通気組織が発達しているからです。

日本を含め雨量<sup>うりょう</sup>の多い東南アジア（アジアモンスーン地帯）では、イネの栽培は比較的容易<sup>ひかくてきようい</sup>で主要な食料源となっています。また、世界的に見てもトウモロコ

シ、イネ、コムギは3大穀類こくろいと呼ばれイネは重要な作物の1つです。

近年、水耕栽培すいこうさいばいと呼ばれトマト等の畑作物はたさくさくもつが水分状態の多い条件で栽培されていますが、これらはいずれも何らかの方法で水に酸素を供給する方法をとっています。

また、鉢植え等で水をかけすぎて根腐れ等が起こります。これらも土壌中（培地）のたんりゅうこうぞう団粒構造こわが壊れ酸素不足による原因が考えられます。ですから根が張ってきたりして水はけが悪く、団粒構造が壊れてくると畑土壌はたけどじょうと言えども酸素不足になります。ひとサイズ大きめの鉢に水はけおよび酸素が入りやすくするために土の大きな塊かたまり（ゴロ）を入れ、植え替えると根が健全けんぜんに成長します。

イネのこのような特徴は、今後いろいろな作物に応用されて（品種改良）いくものと考えられます。

### 語句説明

☆1 細胞間隙さいぼうかんげき・・・細胞と細胞の間

☆2 還元状態かんげん・・・酸素が少ない状態

☆3 団粒構造たんりゅうこうぞう・・・土壌の粒子どじょうりゅうしが集合して塊かたまりとなっているもの

## ★ご来園の皆様へお願い★

安全、快適に公園を利用させていただくため、本公園ではいくつかのルールがあります。  
**自転車**（キックボード含む）の乗り入れ、**ペット**の持ち込み、**テント**設営、**魚釣り**（たこ糸を使ったザリガニ釣りはOK、テグスは不可）などは禁止となっています。  
また**動植物の採集**や鳥などへ**エサをやる**こともかたくお断りしています。きれいな花もみんなで採ったら無くなってしまいますし、可愛いからと、人間の食べ物を鳥などにあげると自分でエサを捕れず、自然界で生きていけなくなり、かえって可愛いそうなおことになってしまいます。ルールを守って楽しく過ごして下さいね。

発行日：2013年8月1日  
発行：21世紀の森と広場パークセンター  
開館：9：00～16：30  
（7月21日～8月20日 9：00～18：00）  
月曜休館（祝日開館／翌日休館）  
〒270-2252 松戸市千駄堀269  
TEL 047-345-8900  
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用下さい。



21世紀の森と広場シンボルキャラクター  
ドンちゃん・グリちゃん